

第 2 回市民会議以降の策定に向けた取組状況

1 第 2 回市民会議での主な意見と反映状況

(1) 主な意見

【構想の内容等に関する意見】

- ・ 官民とあるが、誰がするのか。民がするためにはリソース（人材、資金など）が必要。そういう議論も必要ではないか。
- ・ SNS利用者は情報発信力があるので、投稿件数の多いハッシュタグを使ったり、徳島グルメや徳島カフェなど検索数の多いところと連携して川の駅周辺にあるお店の紹介から乗船を案内する投稿をしタグ付けするなど、戦略的な情報発信が必要。
- ・ 官民でするといってもお金がいる。そんな中、自分がすぐにできると思ったのは情報発信。
- ・ 多くの人に利用してもらうには、棧橋だけでなく付随して何があるかが大事。
- ・ 船の運航ダイヤ、連絡先などが風景に溶け込むようなセンスのある看板を設置できると良い。
- ・ 棧橋に桜や紅葉の木が植えられていたり、ハート型の石が埋め込まれているなど、ガイドしやすい何かがあれば興味をもってもらいやすい。
- ・ イーストとくしまが「藍のれん」のあるまちづくりということで、統一したシンボルを掲げて取組をされているように、ひょうたん島(川の駅)といえどこういうイメージというようなわかりやすいアイコンを作り、看板や情報媒体やインスタのアカウントの写真にする。
- ・ 一つ一つのコンテンツは良いものがあるが、面的にできていない。
- ・ 綺麗になった新町川の魚を学ぶイベントを毎年の恒例イベントにするなど、地元の子どもに愛着がわくような取組で、川の駅一つ一つの魅力や個性をつくり発信できると面白い。
- ・ 程よいグルメで、めちゃくちゃ美味しいわけでもないけど写真映えするグルメなどを目当てに来る人もいるので、川の駅の近くに来ると、珍しいものを食べられる、面白いことができるというように特徴付けができるような発信をしていく。
- ・ 若い人は美味しい物を食べてぶらぶらするだけでも満足するので、そういった発信も有効。
- ・ 観光もいいが、地域の人はどう感じるかも大事。景観に寄り添ったまちづくりも大事。
- ・ 先々を託す子ども達が、大学で県外に行ったとしても徳島に戻ってきたい、ボランティアしたいと協力してくれる大人に成長してもらえよう、子どもの時に川で魚を見たり遊んだりする経験をすることで、川になじみを持ってもらうことが大事。
- ・ 川の駅をもっと増やしていきたい。

【構想の記載等に関する意見】

- ・ 直ぐ取り組めること、時間がかかることなど優先順位を示せると良い。簡単に記号を入れるだけでもいいので検討してほしい。
- ・ 情報発信、子ども、自転車、駅をどのようにデザインするかなど色々な話が出たが、具体化できることはしてもらいたい。
- ・ 3章と4章の名称・順番に違和感があるので検討してほしい。

(2) 主な反映事項

- ・【2 ひょうたん島川の駅ネットワーク (1)川の駅ネットワーク】(3頁：追記)
→※川の駅や停留所、運航ルートは、民(団体・地元等)のニーズ等を踏まえつつ、環境が整った場合は、今後とも必要に応じて、柔軟に見直しを行いながら川の駅ネットワークを形成することとします。

- ・【3 これまでの取組】【4 将来像】(7頁8頁：順番の入替)
→修正前 【3 将来像】【4 これまでの取組】

- ・【6 今後の方向性 本文】(10頁：修正・追記)
→修正前…これらに沿って、具体的な事業や取組を検討していくこととします。
→修正後…これらに沿った具体的な事業や取組を、官民が協力して、検討・実施していくこととします。

- ・【6 今後の方向性 (2)取組方針】(10頁11頁：追記)
→船着場の周知等
→・親しみやすい船着場の検討(呼称等)、船着場の魅力づくり(特性を生かした取組など)
→目安とする取組期間の表示…「短期」「短中期」「中長期」「長期」

2 パブリックコメントの実施

- (1) 実施期間：令和5年3月23日(木)～令和5年4月21日(金)(30日間)
 - (2) 意見提出者数：4人
- ※詳細は集計・精査中です。

3 第2回市民会議後の流れ(今後の予定含む)

令和5年	2月下旬	ひょうたん島川の駅ネットワーク構想(素案)を議会報告
	3月～4月	パブリックコメントの実施
	5月	第3回市民会議の開催
	5月	パブコメ・第3回市民会議等を受け、最終案を検討
	6月	ひょうたん島川の駅ネットワーク構想(最終案)を議会報告
	6月	ひょうたん島川の駅ネットワーク構想の策定
	7月以降	ひょうたん島川の駅ネットワーク構想の推進